

科目名	HST310: 東洋研究					担当教員	玉置 真紀子	
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス							
授業の 概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進むなかで生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。							
達成目標	東南アジア世界の成立と現代社会を理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することで、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にすることが目標である。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 ・ 人々の日常生活と経済活動を説明できる。 ・ 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、課題解決のための提案ができるようになる。 ・ 東南アジア社会を考えることは日本社会を考えることであり、自身の生活に生かせるようになる。 							
評価方法	<p>① 初回、最終回、定期試験を除いた25回の講義において提出するリアクションペーパーを2%×25回=50%とする。</p> <p>② 中間期に行う小テストと定期試験は、配布するハンドアウト、資料、ノートの持ち込み可とし、25%×2回=50%とする。</p>							
評価基準	<p>① リアクションペーパー：講義内容を理解した上で、質問に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②具体的に記述すること。を求める。これができるいれば2点とする。感想のみの場合は1点となる。</p> <p>② 小テストと定期試験：問題に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②課題解決型の問題の場合は、具体的な解決策を提案すること。③自分の経験に引き寄せて検討すること。を求める。感想のみの場合は減点対象とする。</p>							
準備学修 の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する。
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36を読む
4	東南アジアの歴史と社会(1) インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54を読む
5	東南アジアの歴史と社会(2) 交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72を読む
6	東南アジアの歴史と社会(3) 脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79を読む
7	東南アジアの居住空間―都市と農村	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136を読む
8	人びとは何を食べてきたか―コメの歴史と棚田のテクノロジー	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	東南アジアの家族観—結婚、家族、親族、子どもの成長、ジェンダー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む
10	現代東南アジアにおける貧困とは—貧困の基準と実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは (1) 子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは (2) 児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは (3) 子ども兵士という衝撃	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	児童労働とは (4) 課題解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
15	東南アジアにおける児童労働のまとめ、小テスト	講義、質疑応答、小テスト (50分)	1~14回の講義を復習する
16	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
17	小テストの返却と解説 先住民族と呼ばれる人々	試験返却および解説 講義	テキスト pp.252-275 を読む
18	東南アジアの宗教 (1) 仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
19	東南アジアの宗教 (2) イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
20	マイクロファイナンスを学ぶ (1) マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	マイクロファイナンスを学ぶ (2) マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ (3) 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	移住/移民労働者 (1) 海外出稼ぎという選択	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	移住/移民労働者 (2) 残された家族の生活	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	日本で働く東南アジアの人々 (1) 送り出し 国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々 (2) 受け入れ 国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	東南アジア社会における経済と労働問題の まとめ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	16~26回の講義を復習する
28	東洋を再考する 定期試験の返却と解説	講義、試験返却、および 解説	講義の振り返り

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための50章』(明石書店)
参考書	大野・鈴木・日下編著『フィリピンを知るための64章』(明石書店) 清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』(ミネルヴァ書房)
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見ることばかりの内容になると思います。好奇心を持って臨みましょう。質問はリアクションペーパーに記入すれば、次回返答致します。

科目名	HST301: 英米史					担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	月木2限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	英国史、米国史、英米文化、英米文学							
授業の概要	英国・米国の歴史について、日本語・英語の史資料を読みながら基本的に年代順に見ていく。古代ローマ時代から現代まで、政治史だけではなく、文化的トピックについても取り上げる。歴史の長さから、英国史が2/3を占めることになる。							
達成目標	英国・米国の歴史と文化的背景を学び、史資料を用いて自分の言葉で特定の事件やトピックの歴史上の位置づけや意義について説明できるようにすることが目標である。							
到達目標	高校の世界史レベルの内容を頭に入れた上で、各時代の事件・人名・トピックについて自分の言葉で説明できるようにする。そのため、講義前に次の授業プリントについて予習を行い、授業と関連した課題について調べたものを自分の言葉でまとめて毎回提出する。また授業内試験と定期試験では、英米史の重大なできごとや文化関連のトピックについて、自分の言葉で論述できるようにする。							
評価方法	①授業課題：Moodleで次の授業開始時まで提出、2%×23回=46% ②授業内試験：英米史の前半で扱った内容についての論述式試験(30分)、24% ③定期試験：英米史の後半で扱った内容についての論述式試験(45分)、30%							
評価基準	①授業課題：自分で調べた内容を自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお授業を欠席した回の授業課題は採点対象としない。 ②授業内試験：授業で扱った内容について、適切な用語を用いて論述できているか ③定期試験：授業で扱った内容について、適切な用語を用いて論述できているか いずれも研究倫理を守らない(友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する)場合は0点となる。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	はじめに — UKとUSA	講義、質疑応答	1回授業内容の復習 2回授業プリントの予習
2	英：ローマン・ブリテン、アングロ=サクソン諸王国、北海帝国とその崩壊まで	講義、質疑応答	2回授業課題の提出(1) 3回授業プリントの予習
3	英：島嶼彩色写本と工芸品	講義、質疑応答	3回授業課題の提出(2) 4回授業プリントの予習
4	英：ノルマン・コンクエストとアンジュー帝国	講義、質疑応答	4回授業課題の提出(3) 5回授業プリントの予習
5	英：アーサー王と円卓の騎士のロマンス	講義、質疑応答	5回授業課題の提出(4) 6回授業プリントの予習
6	英：英仏百年戦争と言語	講義、質疑応答	6回授業課題の提出(5) 7回授業プリントの予習
7	英：バラ戦争とジェントリ階層の台頭	講義、質疑応答	7回授業課題の提出(6) 8回授業プリントの予習
8	英：ヘンリ7世の対外政策とヘンリ8世の宗教改革	講義、質疑応答	8回授業課題の提出(7) 9回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	英：エリザベス女王と海軍の神話化	講義、質疑応答	9回授業課題の提出(8) 10回授業プリントの予習
10	英：中世文学と中世演劇	講義、質疑応答	10回授業課題の提出(9) 11回授業プリントの予習
11	英：内乱と名誉革命、	講義、質疑応答	11回授業課題の提出(10) 12回授業プリントの予習
12	英：イングランド銀行と内閣	講義、質疑応答	12回授業課題の提出(11) 13回授業プリントの予習
13	米：アメリカ植民	講義、質疑応答	14回授業プリントの予習 授業内試験準備
14	米：アメリカ独立戦争 授業内試験	講義、質疑応答 試験(30分)	15回授業プリントの予習
15	米：南北戦争と奴隷制	講義、質疑応答	15回授業課題の提出(12) 16回授業プリントの予習
16	米：開拓時代とその終焉	講義、質疑応答	16回授業課題の提出(13) 17回授業プリントの予習
17	英：産業革命と万国博覧会 授業内試験返却と講評	講義、質疑応答 試験の講評	17回授業課題の提出(14) 18回授業プリントの予習
18	英：大英帝国とインド	講義、質疑応答	18回授業課題の提出(15) 19回授業プリントの予習
19	英：「国外」で活躍する女性たち	講義、質疑応答	19回授業課題の提出(16) 20回授業プリントの予習
20	英：大英帝国から英連邦へ	講義、質疑応答	20回授業課題の提出(17) 21回授業プリントの予習
21	米：アメリカの繁栄と移民	講義、質疑応答	21回授業課題の提出(18) 22回授業プリントの予習
22	英米：第一次世界大戦	講義、質疑応答	22回授業課題の提出(19) 23回授業プリントの予習
23	英米：第二次世界大戦	講義、質疑応答	23回授業課題の提出(20) 24回授業プリントの予習
24	米：公民権運動とネイティブアメリカン問題	講義、質疑応答	24回授業課題の提出(21) 25回授業プリントの予習
25	米：冷戦	講義、質疑応答	25回授業課題の提出(22) 26回授業プリントの予習
26	英：アイルランド問題	講義、質疑応答	26回授業内容の復習 定期試験の準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	英米：冷戦終結後の世界	講義、質疑応答	27回授業課題の提出(23) 28回授業プリントの予習
28	現代のUKとUSA 定期試験返却と講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle にアップロードするので、授業前に印刷して予習してから授業に臨むこと。		
参考書	指昭博『図説 イギリスの歴史(増補新版)』(河出書房新社) 紀平英作編『アメリカ史』(山川出版社)		

科目名	HST300: 比較社会史					担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー、家族、教育							
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバリゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。							
達成目標	受講生が社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、これらを用いて国内外の社会の諸問題を各自の問題意識と観点から論述できるようにする。							
到達目標	学生は次回授業プリントを読んで事典類で用語などを調べ、あるいは予習教材を読んだり視聴したりすることで予習する習慣をつける。授業課題を書くことで毎回のポイントを把握できるようになる(評価①)。任意の社会問題について、授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、自分の見解を論述できるようになる(評価②)。							
評価方法	①授業課題：Moodleで次の授業開始時まで提出、3%×25回=75% ②定期試験：論述式、ペン書き、25%							
評価基準	①授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお授業を欠席した回の授業課題は採点対象としない。 ②定期試験：社会問題などの事例について、授業で扱った用語・理論・概念を用いて分析し、自分なりの考察を加えて論述できているか。 いずれも研究倫理を守らない(友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する)場合は0点となる。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	社会史と社会構築主義 研究倫理について	講義、質疑応答	1回授業内容の復習 2回授業プリントの予習
2	近代の学的知(1)歴史学	講義、質疑応答	2回授業課題の提出(1) 3回授業プリントの予習
3	近代の学的知(2)英文学と比較文学	講義、質疑応答	3回授業課題の提出(2) 4回授業プリントの予習
4	近代の学的知(3)文化人類学・自然人類学	講義、質疑応答	4回授業課題の提出(3) 5回授業プリントの予習
5	近代の学的知(4)ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答	5回授業課題の提出(4) 6回授業プリントの予習
6	王権(1)西欧の王 ― 皇帝と王	講義、質疑応答	6回授業課題の提出(5) 7回授業プリントの予習
7	王権(2)日本の王 ― 天皇と将軍	講義、質疑応答	7回授業課題の提出(6) 8回授業プリントの予習
8	身分階層(1)身分と社会的ステータス	講義、質疑応答	8回授業課題の提出(7) 9回授業プリントの予習
9	身分階層(2)カースト制	講義、質疑応答	9回授業課題の提出(8) 10回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	教育と学校 — 教育の誕生と文化資本	講義、質疑応答	10回授業課題の提出(9) 11回授業プリントの予習
11	女性と職業 — 働くミドルクラス女性	講義、質疑応答	11回授業課題の提出(10) 12回授業プリントの予習
12	家族と社会(1) 近代英国	講義、質疑応答	12回授業課題の提出(11) 13回授業プリントの予習
13	家族と社会(2) 近代日本	講義、質疑応答	13回授業課題の提出(12) 14回授業プリントの予習
14	女性のイメージ — 近代英国と日本の女性 向けメディアが構築したもの	講義、質疑応答	14回授業課題の提出(13) 15回授業プリントの予習
15	スティグマの付与(1) 聖女と魔女	講義、質疑応答	15回授業課題の提出(14) 16回授業プリントの予習
16	スティグマの付与(2) アウトサイダー	講義、質疑応答	16回授業課題の提出(15) 17回授業プリントの予習
17	死者との交流(1) 西欧の幽霊	講義、質疑応答	17回授業課題の提出(16) 18回授業プリントの予習
18	死者との交流(2) 日本の幽霊	講義、質疑応答	18回授業課題の提出(17) 19回授業プリントの予習
19	他者イメージと自己イメージの構築	講義、質疑応答	19回授業課題の提出(18) 20回授業プリントの予習
20	言語(1) 標準語の問題	講義、質疑応答	20回授業課題の提出(19) 21回授業プリントの予習
21	言語(2) クレオール	講義、質疑応答	21回授業課題の提出(20) 22回授業プリントの予習
22	法と秩序	講義、質疑応答	22回授業課題の提出(21) 23回授業プリントの予習
23	無縁とアジール	講義、質疑応答	23回授業課題の提出(22) 24回授業プリントの予習
24	ナショナリズム(1) 日本人とは誰か	講義、質疑応答	24回授業課題の提出(23) 25回授業プリントの予習
25	ナショナリズム(2) 想像の共同体	講義、質疑応答	25回授業課題の提出(24) 26回授業プリントの予習
26	記憶と記録	講義、質疑応答	26回授業内容の復習 定期試験の準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	サブカルチャーとしてのマンガとアニメ	講義、質疑応答	27回授業課題の提出(25) 28回授業プリントの予習
28	社会構築主義の応用 定期試験の返却と講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	なし。授業の内容をまとめたプリントを Moodle にアップロードするので、授業前に印刷して予習してから授業に臨むこと。予習教材についても授業プリントで指示をする。
参考書	上野千鶴子『構築主義とは何か』(勁草書房)

科目名	INT301: 国際関係論				担当教員	辛 女林		
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	グローバル化、国際問題、日本の国際関係、国際関係学理論							
授業の概要	国際関係論という学問の全体像をつかむための授業。国家間関係の歴史、国際関係論の理論及び様々なグローバル 이슈を通じて、今の国際社会がどのように形成され、どのような状況であるのかを把握する。							
達成目標	国際関係論における概念や理論などを習得し、現在の国際社会ではどのようなイシューがあるのか、それはなぜ問題なのかを理解する。これに基づいて、私たちの生活と国際関係又は政治がどのようにつながっているのかを意識する。							
到達目標	国際関係論における概念や理論を理解し、ディスカッションを通じて今の社会に照らし合わせて考えることができるようになる。国際社会の様々なイシューの中、関心分野を見つける。それについて学習及び調査をし、考えをまとめ、伝えられるようになる。							
評価方法	授業参加 (15%)、授業内試験1回 (25%)、グループ・プレゼンテーション (30%)、定期試験 (30%)							
評価基準	①授業参加：授業中、ディスカッションへの参加・発言、質問 ②授業内試験：概念と理論を理解しているか。 ③グループ・プレゼンテーション：事例に関する調査、説明の分かりやすさ、学んだ内容の適用 ④定期試験：概念を理解しているか。各自が選んだ事例について自分の考えを論述できるか(授業内容を理解したうえ、事例に関する問題意識など)。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	国際関係論とは？学問的背景、国際関係のアクターなど	ガイダンス 講義	レジュメの復習
2	国際関係の歴史1：世界大戦と冷戦 戦争防止のための国際社会の動き	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
3	国際関係の歴史2：冷戦後のグローバルガバナンス	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
4	国際社会を見る視点1：世界を認識する視点としての理論 リアリズム	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
5	国際社会を見る視点2：世界を認識する視点としての理論 リベラリズム	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
6	国際社会を見る視点3：その他の理論と概念	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
7	安全保障1：安全保障の諸概念	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
8	安全保障2：安全保障における協力	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習
9	安全保障3：日米安全保障体制	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	安全保障4:新しい安全保障	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
11	紛争と平和1:前回の授業と関連して多様な紛争についての考察	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
12	紛争と平和2:平和構築	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
13	国際関係と経済1:相互依存と国際政治経済	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
14	国際関係と経済2:制度のグローバル化と地域化	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
15	授業内試験、前半の復習、後半授業とグループ・プレゼンテーションのガイダンス	試験 講義	試験準備
16	グローバルイシュー1:環境問題における協力と対立	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
17	グローバルイシュー2:インターネット・ITをめぐる問題、試験の返却及び解説	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
18	グローバルイシュー3:国家の枠を超えるアクター	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
19	グローバルイシュー4:北極、宇宙、海洋をめぐる協力と対立	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
20	グローバルイシュー5:人の移動、日本の移民・難民政策	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
21	地域統合:ヨーロッパの統合を事例に	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
22	朝鮮半島問題と日本	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
23	日本の国際関係1:前回の授業と関連して近隣国家との関係	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
24	日本の国際関係2:外交政策決定過程	講義 ディスカッション	レジュメ、ディスカッション 資料の復習
25	グループ・プレゼンテーション(1)	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
26	グループ・プレゼンテーション(2)	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	試験の返却及び解説	講義、質問応答	試験についての質問を準備
28	研究紹介及び総括	講義	レジュメの復習

テキスト	特になし。重要内容をまとめたレジュメや他の資料(新聞記事、論文の一部など)を配布する。必要によってスライドや映像資料を使用する。
参考書	滝田賢治、大芝亮、都留康子編『国際関係学—地球社会を理解するために(第2版)』(有信堂、2017)

科目名	ANT200: 文化人類学					担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4205	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑤	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research							
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.							
達成目標	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.							
到達目標	<p>By the end of the semester, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences; • understand broadly the range of topics often studied in anthropology; • understand and explain the significance of key examples of those topics; • understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes; • use careful observation and inference-making to gain cultural understanding; • ask good questions for doing qualitative, interview research. 							
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests, including final exam 30%.							
評価基準	<p>Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions.</p> <p>Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making.</p> <p>Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making.</p> <p>Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.</p>							
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet
7	Religion: "witchcraft" in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
8	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film, HW about marriage practices
12	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
13	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
14	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Project topic
15	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
16	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
17	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
18	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
19	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
22	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
23	Identity: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Identity: the importance of others	lecture, video, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
25	Nation and culture: what holds society together?; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
26	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106; complete Interview Project report
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran
28	Discuss film: observations / inferences; return Test #2 (final exam) and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social & Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他 特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200: 現代美術					担当教員	G. Fredde	
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑤	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modern Art							
授業の 概要	This course will explore developments in art from the 19 th to the 21 st Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.							
達成目標	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.							
到達目標	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.							
評価方法	Participation and Written Reactions (40%), Midterm Report (25%), Final Report (35%)							
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 600 words) Final Report (at least 800 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.							
準備学修 の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course Introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beaubourg Museums	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71 Visit the 3 museum's websites
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, Verdi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early Modern Architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post-impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: “The Sunflowers”	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, M-Becker Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report, Bring Scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read text pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153 Review, Online research
22	20 th Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal, and Conceptual Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 194 -200 Submit Final Report w. PAR
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Recent Trends 1990-2000	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text from p. 200 to the end Review, Online research
28	Current Trends 2001-2019	Lecture, slideshow, Course survey	Last chance to submit the Final Reports (will not be returned)

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Third Edition</i> (Andrews and Mc Meel).
参考書	<i>The Letters of Vincent van Gogh</i> The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English

科目名	EDU302: 比較・国際教育学					担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育							
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的な教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。最後に教育の国際比較をテーマにグループでレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。							
達成目標	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。							
到達目標	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学の視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について、文献の内容をまとめてレジュメを作成し、効果的に発表し、議論することができる。							
評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、②レジュメ (15%)、③プレゼンテーション (15%)、④授業内試験 (40%)							
評価基準	①リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ②レジュメ：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 ③プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、研究内容をわかりやすく伝える工夫をしているか。 ④授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの要約・考察
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配布プリントの要約・考察
3	教育制度の国際比較（1） —就学率・識字率—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	識字率について調べる 配布プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較（2） —学校教育制度の類型—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配布プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較（3） —教育制度改革の焦点—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
6	先進国と途上国における児童労働の現状と撲滅に向けた課題	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配布プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴（1） —学校化社会と学歴社会—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配布プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	先進国における学校化社会と学歴(2) —ヨーロッパの非学歴社会—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
10	発展途上国における識字教育(1) —非識字者の分布と構成—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配布プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育(2) —識字教育の取り組み—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	SDGsについて調べる 配布プリントの要約・考察
12	先進国における国民統合と学校教育(1) —新自由主義的教育政策—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配布プリントの要約・考察
13	先進国における国民統合と学校教育(2) —多文化共生教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
14	多文化教育の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配布プリントの要約・考察
15	発展途上国における国民統合と学校教育 —マレーシアを中心に—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
16	世界のシティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民教育について調べる 配布プリントの要約・考察
17	開発と教育(1) —開発教育—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	開発教育について調べる 配布レジユメの要約・考察
18	開発と教育(2) —国際教育協力—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	国際教育協力を調べる 配布レジユメの要約・考察
19	開発と教育(3) —JICAによる国際教育協力の実態—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICAについて調べる 配布レジユメの要約・考察
20	欧米の自由教育	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配布レジユメの要約・考察
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	20回目までの授業内容の復習
22	試験の返却と解説・プレゼンテーションの準備	講義・質疑応答 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
23	アジアの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
24	中東の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
25	西ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
26	北ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	アフリカの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
28	北米・中南米の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。		
参考書	石附 実『比較・国際教育学』(東信堂) 二宮 皓編著『世界の学校』(学事出版)		
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。		

科目名	EDU320: 言語とリテラシー教育					担当教員	M. Andrade	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑤	
キーワード	education, reading, writing, cross-cultural understanding							
授業の 概要	The course introduces the principles of reading and writing instruction used in Kindergarten through Grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English or Japanese. They will also gain understanding of cross-cultural differences between the American and Japanese educational systems.							
達成目標	To understand the basic principles of teaching and learning how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms. To become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level. To become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to education.							
到達目標	Students will aim to do the following: (1) Understand and give examples of the basic components of reading instruction and how they are realized in classroom instruction. (2) Use a checklist to describe, analyze, and evaluate video cases studies of teaching. (3) Summarize and critique the contents of video case studies. (4) Thoughtfully compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.							
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%							
評価基準	(1) <i>Participation and discussion</i> : Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class writing tasks (e.g., checklists, note-taking). (2) <i>Reaction papers</i> : Punctuality, completeness and detail in describing, analyzing, and evaluating the video cases studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings. Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.							
準備学修 の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Basic reading skills, phonics, oral language, fluency, vocabulary, comprehension	video, lecture, reading	Preview the textbook
2	Grades K-2: "Video 1: Becoming readers and writers"	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
3	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Oral Language" p. 8,	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
4	Grades K-2: "Video 2: Writer's journal" (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
5	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p. 9	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
6	Grades K-2: "Video 3: Building oral language"	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
7	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Fluency" p. 11	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Grades K-2: “Video 4: Thalia learns the details” (letter sounds, inventive drawing)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
9	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Learning Vocab.” p. 12	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
10	Grades K-2: “Video 5: Assessment-driven instruction.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
11	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Prior Knowledge” p. 13	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
12	Grades K-2: “Video 6: Cassandra becomes a fluent reader” (using visual clues)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
13	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Comprehension” p. 14	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
14	Grades K-2: “Video 7: Connecting Skills to Text.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
15	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Motivation . . .” p. 15	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
16	Grades K-2: “Video 8: Promoting readers as leaders.” (managing classroom routines)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
17	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Integrated Reading” p. 16	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
18	Grades K-2: “Video 9: Students make choices” (developing independence)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
19	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Assessment” p. 18	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
20	Grades 3-5: “Workshop 1: Creating contexts for learning.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
21	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Culture Factors” p. 19	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
22	Grades 3-5: “Workshop 2: Fluency and word study” (teaching strategies)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
23	Present Reaction Paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p. 20	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
24	Grades 3-5: “Workshop 3: Building comprehension.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
25	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Conclusion” p. 21	discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
26	Grades 3-5: “Workshop 4: Writing” (reading and writing connection)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Present reaction paper. Discussion.	discussion, note-taking, Q&A	Watch the video. Read the video handout.
28	Review and individual consultations.	lecture, one-to-one consultations	Review your notes and other work for this course.

テキスト	Elizabeth Pang and others. <i>Teaching Reading</i> (UNESCO International Bureau of Education, PDF) or similar updated material. Videos and handouts from http://learner.org and other sources.
参考書	Keith Topping. <i>Tutoring</i> (UNESCO International Bureau of Education, PDF). Online.
その他 特記事項	(1) High-level English ability (about TOEIC 500+) and strong motivation are recommended. (2) Online videos may sometimes be unavailable, so the contents above may change somewhat.

科目名	PHL210: 倫理学					担当教員	丹木 博一	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	1, 4	キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					1-①, 4-⑤	
キーワード	よく生きること、幸福、正義、善、人格、徳、規範、自由、義務、目的、責任、愛							
授業の概要	「他者とともによく生きるために何をなすべきか」という倫理学の根本問題を追求する。善悪の基準に関する倫理学の歴史を辿りながら、大切にしなければならない道徳的規範はどのようなものであるかを考察する。							
達成目標	「人生いかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。 ・行為選択の倫理的規範についての現代的な議論を理解し、自分の意見を表現できる。 ・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。 							
評価方法	①授業毎の課題(14%)、②授業毎のリアクションペーパー(14%)、③中間レポート(2,000字以上)(30%)、④定期試験(選択式問題と小論文)(42%)							
評価基準	<p>授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</p> <p>リアクションペーパー：倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</p> <p>中間レポート：倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉で分かりやすく説明した上で、自分の意見を展開できるかどうか。</p> <p>定期試験：定期試験期間中に実施する。内容は以下の通り。いずれも持ち込み不可。</p> <p>(i) 選択式の問題を課す。教科書を正しく理解していること。22%</p> <p>(ii) 700～800字の小論文を作成してもらう。15回目以降の授業で取り上げた倫理学者のなかから一人を選び、その学説のポイントを説明した上で、理由を挙げて賛否を述べること。20%</p>							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	倫理学とは何か	DVD視聴、講義、ディスカッション	「倫理」という言葉の成り立ちと意味を調べておく。
2	規範倫理学と記述倫理学	講義、ディスカッション	教科書第1章を読み、節ごとのポイントを要約する。
3	情動説	講義、ディスカッション	教科書第2章を読み、節ごとのポイントを要約する。
4	これまでのまとめと展望	DVD視聴、講義、ディスカッション	他の学問と対比し、倫理学的問いの具体例を挙げる。
5	プラトンの倫理学説	講義、ディスカッション	教科書第3章を読み、節ごとのポイントを要約する。
6	ホッブズの倫理学説	講義、ディスカッション	教科書第4章を読み、節ごとのポイントを要約する。
7	自然観と倫理観	講義、ディスカッション	教科書第5章を読み、節ごとのポイントを要約する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	ヒュームの「共感」の倫理学	講義、ディスカッション	教科書第6章を読み、節ごとのポイントを要約する。
9	カントの「義務」倫理学	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第7章を読み、節ごとのポイントを要約する。
10	カントの「自律」概念	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第8章を読み、節ごとのポイントを要約する。
11	ベンサム功利主義	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第9章を読み、節ごとのポイントを要約する。
12	ミルの功利主義	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第10章を読み、節ごとのポイントを要約する。
13	ヘアの道徳的思考	講義、ディスカッション	教科書第11章を読み、節ごとのポイントを要約する。
14	これまでのまとめと展望	講義、ディスカッション	倫理の根拠を何に求めるべきか、自分の意見をまとめる。
15	正義と善	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第12章を読み、節ごとのポイントを要約する。 中間レポート提出
16	合意と契約の意味	DVD視聴、講義、ディスカッション	社会契約論について調べ、その内容を要約する。
17	ロールズの正義論	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第13章を読み、節ごとのポイントを要約する。
18	リバタリアニズム	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第14章を読み、節ごとのポイントを要約する。
19	共同体主義	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第15章を読み、節ごとのポイントを要約する。
20	アリストテレスの徳倫理	DVD視聴、講義、ディスカッション	教科書第16章を読み、節ごとのポイントを要約する。
21	ヘーゲルの国家論	講義、ディスカッション	教科書第17章を読み、節ごとのポイントを要約する。
22	討議倫理学	講義、ディスカッション	教科書第18章を読み、節ごとのポイントを要約する。
23	ケアの倫理	講義、ディスカッション	教科書第19章を読み、節ごとのポイントを要約する。
24	責任の倫理	講義、ディスカッション	教科書第20章を読み、節ごとのポイントを要約する。
25	正義概念の脱構築	講義、ディスカッション	教科書第21章を読み、節ごとのポイントを要約する。
26	倫理学と真理論	講義、ディスカッション	教科書第22章を読み、節ごとのポイントを要約する。
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	まとめ1: 倫理的思考の重要性	講義、ディスカッション	講義全体をふりかえり、印象に残ったことをまとめる。
28	まとめ2: 試験答案の返却と講評	講義、ディスカッション	自分にとって重要な倫理的思考の意義を論じる。

テキスト	品川哲彦『倫理学の話』(ナカニシヤ出版)
参考書	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話しよう』(ハヤカワ文庫) 加藤尚武『現代倫理学入門』(講談社学術文庫)
その他特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	Thomas	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4211	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑤	
キーワード	sustainable development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership							
授業の概要	This course deals in detail with the “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It will cover the seventeen SDGs and one hundred sixty nine targets and how they are built upon the “Millennium Development Goals” which ended in 2015. As part of assignments, students will be required to choose one of the seventeen goals and study how it is being implemented in one of the developing countries. Students are required to read the handouts beforehand and prepare for discussion in class.							
達成目標	The general goals of this course are (1) to study the tasks left behind by the MDGs after fifteen years of hard labor to eradicate extreme poverty and (2) to learn the relevance of SDGs in the next fifteen years for the world, (3) to research on particular issues related to SDGs in different developing countries especially Africa and Asia today, and (4) to know the interrelatedness of development and peace.							
到達目標	By the end of this course students will <ul style="list-style-type: none"> • acquire a deeper understanding of the achievements of MDGs • know how MDGs led the world leaders to plan SDGs for the globe • know the importance of MDGs and SDGs for the future of the world • increase their awareness of critical issues in developing countries • improve their ability to do research on issues related to peace and development • learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation 							
評価方法	Class participation (40%), Mini tests (20%), Presentation (20%), Final Report (20%)							
評価基準	To be distributed at the first class.							
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	Lecture, discussion, Q&A	Read course description
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	Lecture, reading, group work, discussion	Read handouts, prepare for discussion, do homework (HW)
3	What is development? Relation between development and peace	Lecture, discussion, reading, reaction paper	Read handouts, prepare for discussion, do HW
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs	Lecture, reading, discussion	Read about MDGs from UN homepage, do HW
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	Lecture, reaction paper, group work, discussion	Read handouts, do HW
6	Achievements of MDGs – Goals 5 - 8	Lecture, group work, discussion	Read handouts, do HW, prepare for discussion
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs)	Lecture, group work, discussion, mini test	Read handouts, prepare for discussion and mini test
8	SDG 1: No poverty, return mini test and go over results	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
9	SDG 2: Zero hunger	Lecture, presentation, group work, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
10	SDG 3: Good health and well-being	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
11	SDG 4: Quality education	Lecture, presentation, mini test, discussion	Read handout, prepare for presentation and mini test
12	SDG 5: Gender equality, return mini test and go over results	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
13	SDG 6: Clean water and sanitation	Lecture, presentation, group work, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
14	SDG 7: Affordable and clean energy	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
15	SDG 8: Decent work and economic growth	Lecture, presentation, mini test, discussion	Read handout, prepare for presentation and mini test
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, return mini test and go over results	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
17	SDG 10: Reduced inequalities	Lecture, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
18	SDG 11: Sustainable cities and communities	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
19	SDG 12: Responsible consumption and production	Lecture, presentation, mini test, discussion	Read handout, prepare for presentation and mini test
20	SDG 13: Climate action, return mini test and go over results	Lecture, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
21	SDG 14: Life below water	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
22	SDG 15: Life on land	Lecture, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions, return mini test and go over results	Lecture, mini test, discussion, presentation	Read handout, prepare for presentation and mini test
24	SDG 17: Partnerships for the goals	Lecture, reaction paper, presentation, discussion	Read handout, prepare for presentation and discussion
25	Research presentation by students (first half of students)	Research presentation, discussion	Prepare for research presentation
26	Research presentation by students (second half of students)	Research presentation, discussion	Prepare for research presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Evaluation of SDGs, Submission of final report	Lecture, group work, discussion	Read handout, prepare for discussion
28	Recap of the course	Discussion, group work	Write a short evaluation of the course

テキスト	Materials adapted from <i>The 2030 Agenda for Sustainable Development</i> and <i>The Sustainable Development Goals Report 2016</i> and <i>The Millennium Development Goals Report 2015</i> will be distributed in class.
参考書	Rorden Wilkinson and David Hulme (Eds.). <i>The Millennium Development Goals and Beyond</i> (Routledge).
その他 特記事項	Since this course is offered entirely in English, students are expected to read the handouts beforehand, check the meaning of new vocabulary, and prepare for discussion in every class.

科目名	LIT323: イギリスの文化と文学					担当教員	山本 浩	
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4212	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	イギリスの4つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化							
授業の概要	イギリス(連合王国)を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術(とくに美術と演劇)、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。							
達成目標	イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。							
到達目標	イギリスの4つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。							
評価方法	テストおよび定期試験 50% 小論文 30% 授業への積極参加 20%							
評価基準	テストおよび定期試験: 授業で取り上げた4つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る。 小論文: 課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る。 授業への積極参加: 授業での質問・発言・意見表明などを積極的に行なったかを見る。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	イギリスの4つの国と民族(古代~中世)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの4つの国と民族(近代~現代)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの4つの国についての評論文	“Being British”の講読と研究	事前に“Being British”を読む
4	英語の歩み(Old EnglishからMiddle Englishへ)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み(Middle EnglishからModern Englishへ)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModEの実例	OE、ME、ModEの「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」(日本語および現代英語)を読む
7	イギリス社会の階級(階級とは何か)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	イギリス社会の階級(階級と英語)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	D. H. Lawrence, <i>Sons and Lovers</i> に見られる階級	<i>Sons and Lovers</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Sons and Lovers</i> の翻訳を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	テスト(45分)と1回~9回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
11	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
12	イギリスの教育(初等・中等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育(高等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, <i>Boy</i> に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, <i>Boy</i> の講読と研究	事前に <i>Boy</i> の翻訳を読む
15	イギリスのキリスト教(古代~中世)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	イギリスのキリスト教(宗教改革~現代)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	Graham Greene, <i>The End of the Affair</i> に見られるキリスト教	<i>The End of the Affair</i> の講読と研究	事前に <i>The End of the Affair</i> の翻訳を読む
18	イギリスの芸術(美術)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	イギリスの芸術(演劇)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, <i>Family Voices</i> を読む	<i>Family Voices</i> の講読と研究	事前に <i>Family Voices</i> の翻訳を読む
21	テスト(45分)と12回~20回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
22	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
23	イギリスのメディア(新聞)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	イギリスのメディア(ラジオ・TV)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	George Orwell, “A Nice Cup of Tea” を読む	“A Nice Cup of Tea” の講読と研究	事前に “A Nice Cup of Tea” の翻訳を読む
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	定期試験のふりかえり	定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

テキスト	特に使用しない。事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおく。授業には、ファイルをプリントしたものを持参する。
参考書	『イギリス文化事典』(丸善出版)

科目名	LIT310: 英詩研究				担当教員	飯田 純也		
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4216	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	詩、詩人、モラル、ダンテ、煉獄、死者の声、戦争、平和、内戦、虐殺、イデオロギー							
授業の概要	詩は人類が学んだ教訓を表現する。まず英国の詩の伝統を踏まえた上で、イタリアの詩人ダンテの代表作『神曲』を概観する。次に、ダンテから影響を受けた現代詩人4人の作品を読む。最後に、極限状況で詩を書いた世界の詩人たちの詩を英語訳で読む。グループワークで、彼らの詩が書かれた背景を調べ、次に各自で彼らの詩を解釈し、両者を合わせたものを期末レポート(4,000字以上)として提出してもらう。							
達成目標	授業の目標は、差別、迫害、暴力、戦争という時代背景を批判的に分析しながら、詩のテキストの中に忘れてはならない教訓を読み取り、自分のことばで表現する語学力と思考力の獲得である。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語文化圏を代表する詩人の作品を分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって詩を読む習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる 							
評価方法	【小論文】 作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、3回提出計30% 【グループ発表と期末レポート】 何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、各10%と30% 【シャトルカード】 問題意識をもって詩を読む習慣ができているか、計30%							
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	授業紹介 <i>In Her Shoes</i> (2005 movie)	講義、DVD視聴	課題DVD資料の準備
2	詩論(1) John Donne, William Carlos Williams, Gary Snyder, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
3	詩論(2) Andrew Marvell, Wallace Stevens, Elizabeth Bishop, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
4	詩論(3) William Shakespeare, Robert Browning, Sylvia Plath, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
5	詩論(4) 総括	質疑応答、グループ討論	小論文no.1の準備(提出は次回授業時)
6	詩人論ダンテ(1) <i>The Divine Comedy</i>	講義、質疑応答、小論文提出	課題資料の予習、要約をノート
7	詩人論ダンテ(2) <i>Inferno</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
8	詩人論ダンテ(3) <i>Purgatorio</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	詩人論ダンテ (4) <i>Paradiso</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
10	詩人論ダンテ (5) 総括	質疑応答、グループ討論	小論文 no. 2 の準備 (提出は次回授業時)
11	現代詩人論 (1) W. B. Yeats: “The Lake Isle of Innisfree” “Sailing to Byzantium” etc.	講義、質疑応答、小論文提出	課題資料の予習、要約をノート
12	現代詩人論 (2) W. B. Yeats: “Among School Children” “Cuchulain Comforted” etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
13	現代詩人論 (3) Ezra Pound: Poems from <i>Personae</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
14	現代詩人論 (4) Ezra Pound: “Hugh Selwyn Mauberley” Excerpts from <i>Cantos</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
15	現代詩人論 (5) T. S. Eliot: “The Love Song of J. Alfred Prufrock” etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
16	現代詩人論 (6) T. S. Eliot: “The Waste Land”	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
17	現代詩人論 (7) Seamus Heaney: Poems from <i>Field Work</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
18	現代詩人論 (8) Seamus Heaney: Poems from <i>Station Island</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
19	現代詩人論 (9) 総括	質疑応答、グループ討論	小論文 no. 3 の準備 (提出は次回授業時)
20	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (1) グループ研究の導入 (研究倫理等)	グループワーク、小論文提出	グループ発表と期末レポートの準備
21	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (2) Poems from “War in the Middle East”	グループワーク	グループ発表と期末レポートの準備
22	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (3) Poems from “World War II”	グループワーク	グループ発表と期末レポートの準備
23	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (4) Poems from “The Holocaust”	グループワーク	グループ発表と期末レポートの準備
24	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (5) Poems from “War in Korea and Vietnam”	グループワーク	グループ発表と期末レポートの準備
25	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (6) Poems from other chapters	グループワーク	グループ発表と期末レポートの準備
26	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (7) グループ発表と期末レポート提出	グループ発表	グループ発表と期末レポートの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	詩の朗読会 シャトルカードの返却	朗読	朗読会の準備
28	期末レポートの返却と講評	講義、グループ討論	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	Carolyn Forché (ed.). <i>Against Forgetting: Twentieth-Century Poetry of Witness</i> (W. W. Norton). 詩のテキスト及び資料を随時配布する
参考書	Dante Alighieri. <i>Divine Comedy</i> (Chartwell Books).

科目名	LIT322: 映画と文学					担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4216	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム							
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。							
達成目標	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる 							
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 小論文、作品の背景を理解し、作品を分析、批判、評価できているか、計40% ② 発表、何が問題か理解し、分析し、根拠を上げ自分の文章で論述しているか、計10% ③ 定期試験、授業の各テーマを自分なりの視点で分析し、論述できているか、計30% ④ シャトルカード、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、計20% 							
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction to Film and Literature <i>Hugo</i> (2011)	講義、課題 DVD 視聴リスト配布	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	Introduction to Film and Literature <i>Cinema Paradiso</i> (1988)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
3	discussion: <i>Cinema Paradiso</i> Charlie Chaplin: <i>Chaplin</i> (1992)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
4	Charlie Chaplin: <i>The Kid</i> (1921) and <i>Modern Times</i> (1936)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
5	discussion: <i>The Great Dictator</i> (1940)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no.1 の準備(提出は次回授業時)
6	SF and SF films (H. G. Wells): <i>The Time Machine</i> , <i>The Shape of Things to Come</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
7	discussion: <i>The War of the Worlds</i> (2005)	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
8	Propaganda: Sergei Eisenstein, D. W. Griffith, Leni Riefenstahl, Edward Bernays	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
9	discussion: <i>Welcome to Sarajevo</i> (1998)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no.2 の準備(提出は次回授業時)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Drama: <i>Rain Man, What's Eating Gilbert Grape, I Am Sam, etc.</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
11	Drama: <i>The Theory of Everything</i> (2014)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
12	discussion: <i>The Theory of Everything</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
13	Epic: <i>War and Peace, Doctor Zhivago, Reds</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
14	Epic: <i>Dances with Wolves, Legends of the Fall</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
15	discussion: <i>Les Misérables</i> (2012)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 3 の準備(提出は次回授業時)
16	Dystopia: <i>Metropolis, Nineteen Eighty-Four</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
17	Dystopia: <i>The Hunger Games</i> trilogy (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
18	discussion: <i>The Hunger Games</i> trilogy	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
19	War: <i>The Cold Mountain, The Red Baron, A Bridge Too Far, Nuremberg, etc.</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
20	War: <i>Thirteen Days</i> (2000)	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
21	discussion: <i>Thirteen Days</i> Introduction to independent research	発表、ディスカッション、講義	発表準備、小論文 no. 4 の準備(提出は次回授業時)
22	Race: <i>The Color Purple</i> (1985), <i>Amistad</i> (1997), <i>12 Years a Slave</i> (2013)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
23	Marriage: <i>Pride and Prejudice</i> (1995), <i>Bridget Jones</i> film series (2001, 2004)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
24	Fantasy: <i>Harry Potter, Star Wars, The Lord of the Rings</i> film series	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
25	Japanese films: Kurosawa (<i>Seven Samurai, etc.</i>), Ozu (<i>Tokyo Story, etc.</i>)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
26	Japanese films: Miyazaki (<i>Princess Monono-ke, Ponyo, From Up on Poppy Hill, etc.</i>)	発表、ディスカッション、講義	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Romance: <i>Pretty Woman, 50 First Dates, P.S. I Love You, The Notebook</i>	発表、講義、シャトルカードの返却	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
28	定期試験の返却と講評	講義、振り返り	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業内容に関するプリントをメールに添付して配付するので、各自が授業前に印刷して持ってくること。
参考書	Robert Sklar. <i>A World History of Film</i> (2003); Jill Neldes. <i>Introduction to Film Studies</i> (2011); Edward Bernays. <i>Propaganda</i> (2005); Timothy Corrigan. <i>Film and Literature: An Introduction and Reader</i> (2012)

科目名	ENG350: 翻訳演習					担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4218	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	文学言語の翻訳、英文和訳、語彙、文法、現代アメリカ小説、アメリカ文化							
授業の概要	現代アメリカ短編小説と翻訳術に関する本を読み、翻訳の技術を高めてゆく。毎回の授業で、学生が作る訳文の発表があり、それを基に意見交換し、共同で訳文を作成する。小説が提示する文学的主題の理解も深める。主題は家族に関わり、女性の独立と結婚、引き籠りの息子と家族、父の死と家族の再生、離婚と親子関係、貧困と家族の支援等である。翻訳術については、文法的な観点から翻訳上の工夫の仕方を身に付ける。							
達成目標	現代アメリカ短編小説の文学言語を日本語訳出来るようにする。複数の文学作品に触れ、比喩的かつ重層的な意味を持つ言語と複雑な構造を理解し、背後にある思想的確に読み取りながら、文章を翻訳する技術を修得する。また様々な文法事項ごとに特有な翻訳術を理解し、それを基とした翻訳技術を修得する。							
到達目標	学期前半では単語、文法、構造理解等のレベルから学習し始めて英文和訳の基礎を修得する。その作業を継続しながら、文学言語の特徴を理解した上で、日本語らしい文章で翻訳出来るようになる。また訳文の発表と質疑応答を通し、文法、構造、総合的な文章理解、翻訳に関わる適切な説明をし、他人の意見を反映した上で訳文を改善出来るようになる。文法事項ごとに必要な翻訳上の工夫を意識し訳文を作成する力を修得する。							
評価方法	授業参加 (20%)、発表 (30%)、試験 (50%)							
評価基準	授業参加については、個々の学生が事前に辞書を引き文章を読んだ上で、授業中に語彙、文法、構造の理解を示し、自分の訳文を口頭で述べる事が出来る。また他の学生の発表に関する建設的な意見を述べる事が出来る。発表では正確かつ意味が明確で日本語らしい訳文を作成し、それに関する的確な語彙、文法、構造等の注を加えて原稿を作り、発表することが出来る。質疑応答では、正確な英語理解に基づいた受け答えが出来る事が重要。テストでは、正確で意味の明確な訳文の作成が求められる。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	授業紹介、Kate Chopin, "Regret." 導入. 翻訳術 語順と原文の思考導入.	講義と意見交換	"Regret" pp.11-12. 『英文翻訳術』 pp.15-24.
2	Chopin, "Regret." 語順と原文の思考まとめ.	講義と意見交換	"Regret" pp.13-14. 『英文翻訳術』 pp.15-24.
3	Chopin, "Regret." 所有格.	講義と意見交換	"Regret" pp.15-16. 『英文翻訳術』 pp.25-36.
4	Chopin, "Regret." まとめ. 所有格まとめ.	講義と意見交換	"Regret" pp.11-16. 『英文翻訳術』 pp.25-36.
5	Bernard Malamud, "My Son the Murderer." 導入. 核文と変形導入.	発表と意見交換	"My Son" pp.17-18. 『英文翻訳術』 pp.37-45.
6	Malamud, "My Son the Murderer." 核文と変形まとめ.	発表と意見交換	"My Son" pp.19-20. 『英文翻訳術』 pp.37-45.
7	Malamud, "My Son the Murderer." 無生物主語導入.	発表と意見交換	"My Son" pp.21-22. 『英文翻訳術』 pp.46-57.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	Malamud, "My Son the Murderer." 無生物主語まとめ.	発表と意見交換	"My Son" pp.23-24. 『英文翻訳術』 pp.46-57.
9	Malamud, "My Son the Murderer." 代名詞導入.	発表と意見交換	"My Son" p.25. 『英文翻訳術』 pp.67-77.
10	E.L. Doctorow, "The Writer in the Family." 導入. 代名詞まとめ.	発表と意見交換	"The Writer" pp.26-27. 『英文翻訳術』 pp.67-77.
11	Doctorow, "The Writer in the Family." 関係代名詞・接続詞導入.	発表と意見交換	"The Writer" pp.28-29. 『英文翻訳術』 pp.88-98.
12	Doctorow, "The Writer in the Family." 関係代名詞・接続詞まとめ.	発表と意見交換	"The Writer" pp.30-31. 『英文翻訳術』 pp.88-98.
13	Doctorow, "The Writer in the Family." 関係代名詞・分解導入.	発表と意見交換	"The Writer" pp.32-33. 『英文翻訳術』 pp.99-109.
14	Doctorow, "The Writer in the Family." 授業内試験.	発表と意見交換 試験	"The Writer" p.34. 試験準備
15	Doctorow, "The Writer in the Family." 関係代名詞・分解まとめ.	発表と意見交換	"The Writer" pp.35-36. 『英文翻訳術』 pp.99-109.
16	Doctorow, "The Writer in the Family." 形容詞・副詞術語的訳導入.	発表と意見交換	"The Writer" pp.37-38. 『英文翻訳術』 pp.120-130.
17	Doctorow, "The Writer in the Family." 試験の返却、および解説	発表と意見交換	"The Writer" pp.39-40.
18	Doctorow, "The Writer in the Family." 形容詞・副詞術語的訳まとめ.	発表と意見交換	"The Writer" pp.41-42. 『英文翻訳術』 pp.120-130.
19	Doctorow, "The Writer in the Family." 副詞に訳す形容詞導入.	発表と意見交換	"The Writer" p.43. 『英文翻訳術』 pp.131-142.
20	Updike, "Still of Some Use." 導入. 副詞に訳す形容詞まとめ.	発表と意見交換	"Still" pp.44-45. 『英文翻訳術』 pp.131-142.
21	Updike, "Still of Some Use." 比較表現導入.	発表と意見交換	"Still" pp.46-47. 『英文翻訳術』 pp.143-154.
22	Updike, "Still of Some Use." 比較表現まとめ.	発表と意見交換	"Still" pp.48-49. 『英文翻訳術』 pp.143-154.
23	Updike, "Still of Some Use." 時制導入.	発表と意見交換	"Still" p.50. 『英文翻訳術』 pp.155-164.
24	Carver, "Elephant." 導入. 時制まとめ.	発表と意見交換	"Elephant" pp.51-52. 『英文翻訳術』 pp.155-164.
25	Carver, "Elephant." 受動態導入.	発表と意見交換	"Elephant" pp.53-54. 『英文翻訳術』 pp.168-178.
26	Carver, "Elephant." 受動態まとめ.	発表と意見交換	"Elephant" pp.55-56. 『英文翻訳術』 pp.168-178.
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Carver, "Elephant." 受動態(続).	発表と意見交換	"Elephant" pp.57-58. 『英文翻訳術』 pp.179-191.
28	Carver, "Elephant." 試験の返却、および解説.	発表と意見交換	"Elephant" pp.59-60.

テキスト	井上健 他編『American Families』(三修社) 安西徹雄『英文翻訳術』(筑摩書房)
------	---

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	言語コミュニティ、地域方言、社会方言、多言語主義、Style shift、Politeness、文化							
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学習内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言といった社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストの内容をまとめたレジュメ、および関連する内容についてのハンドアウトを中心に講義形式で進められ、理解促進のため必ず單元ごとに既習内容のreviewを行う。							
達成目標	本講で対象となる言語社会は多くの学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。							
到達目標	上記の達成目標のもと、学生は言語使用や言語バリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、日本語や英語、また他の言語が各言語コミュニティの中でどのような状況に置かれているのかについて、客観的に認識できるようになる。同時に自らの言語生活を振り返ることで、母語(および第二言語)がどのように自らのアイデンティティ形成に関与しているかについて考察することができるようになる。							
評価方法	▶中間試験(30%)、▶期末試験(40%)、▶Research Assignment(20%)、▶授業参加度(10%)							
評価基準	<p>▶中間試験(客観式): 学期前半部分の学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを確認する。</p> <p>▶定期試験(客観式): 学期後半部分の学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを確認する。</p> <p>▶Research assignment: 学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。この課題は(1)指示通りに調べたことがまとめられているか、(2)それを自分自身の言語観や日常の言語使用、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているか、という2点において評価される。</p> <p>▶授業参加度: 授業内での発言の回数と内容の正確性/妥当性をもとに評価する。</p>							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview & What is language? 本講の概観&言語とは何か	講義、グループワーク、ディスカッション	テキストのまえがきを読む 言葉について考える
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.1)、レジュメの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.1)、レジュメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジュメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジュメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジュメの予習・復習
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	Language death: “Ainu Rebels” 言語の死	講義、ディスカッション、DVD視聴	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
9	Language death 言語の死	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： その背景と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： 広がりと言語的発達	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
12	Regional variations: Dialect and language 地域方言：方言と言語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.3)、レジユメの予習・復習
13	Review of the first half 前半のまとめ Mid-term Test 中間試験	講義、質疑応答 試験実施	テキスト(ch.1-3)、レジユメの復習、テスト準備
14	Test review 試験結果の返却、および解説 World Englishes: 国際語としての英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.3)、レジユメの予習・復習
15	Social variations: Studies by Labov 社会方言：Labovの調査研究	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.3)、レジユメの予習・復習
16	Social variations: social class and gender 社会方言：社会階級、性差	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.3)、レジユメの予習・復習
17	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.3)、レジユメの予習・復習
18	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.4)、レジユメの予習・復習
19	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.4)、レジユメの予習・復習
20	Politeness: Its background ポライトネス：その背景	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.4)、レジユメの予習・復習
21	Politeness: B & L’s politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.4)、レジユメの予習・復習
22	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.5)、レジユメの予習・復習
23	Cross-cultural Communication: Culture & Context 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.5)、レジユメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis サピア=ウォーフ仮説	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.5)、レジユメの予習・復習
25	Language policy 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.5)、レジユメの予習・復習
26	Language plans 言語計画 Review of the second half 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch.5)、レジユメの復習、テスト準備
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	Think about language and identity 言語とアイデンティティーについて考える	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	東照二(著)『社会言語学入門』(研究社)
参考書	飯野公一ほか(著)『新世代の言語学』(くろしお出版) Wardhaugh, R. <i>An Introduction to Sociolinguistics</i> (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、同時履修していることが望ましい。よってそうでない場合には履修登録前に担当教員と話をする必要がある。

科目名	LNG305: 音声学					担当教員	吉田 夏也	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	音声学・言語学・音響・知覚・生理							
授業の概要	日本語や英語をはじめとした言語の音声的特徴を理解するためには、音声学的知識を持つことが必須である。この授業では、生成・伝達・知覚という3つの側面から、世界のさまざまな言語音声を比較することによって、言語音の特徴を学習する。							
達成目標	この授業は、音声に関する幅広い知識とその知識を使って言語音を観察する手法を身につけることを目的としている。同時に、音声学という学術領域を理解することも目的としている。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声に関する知識が身につく ・言語音の特徴が理解できるようになる ・自分や他人の発音を客観的に観察できるようになる ・音声学の分析手法と考え方が説明できるようになる 							
評価方法	授業内試験（3回程度実施するが、受講生の理解度に応じて実施回数は増減することがある） 60%；レポート40%							
評価基準	授業内試験によって、音声に関する知識の理解、および言語音の特徴の理解と音声学領域の理解を評価する。 レポートは主に言語音に関する観察と補助的な知識の理解を評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	言語学・音声学とは	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
2	調音音声学【発音と体の仕組み】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
3	調音音声学【発声】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
4	調音音声学【発音をする場所】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
5	調音音声学【発音の運動】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
6	母音と子音	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
7	日本語の母音	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
8	英語の母音	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
9	日本語の子音	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
10	英語の子音	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	まとめとテスト	講義・試験	授業内容の復習、次回レジメの予習
12	音響音声学【音の物理的側面】	講義・実践・質疑応答・試験返却と講評	授業内容の復習、次回レジメの予習
13	音響音声学【言語音の客観的提示方法】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
14	音響音声学【言語音のモデル化】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
15	音響音声学【母音の音響的特徴】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
16	音響音声学【子音の音響的特徴】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
17	日本語音声の音響的特徴	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
18	英語音声の音響的特徴	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
19	日本語の韻律的特徴	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
20	英語の韻律的特徴	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備
21	まとめとテスト	講義・試験	授業内容の復習、次回レジメの予習
22	聴覚音声学【音響的不変性の欠如】	講義・実践・質疑応答・試験返却と講評	授業内容の復習、次回レジメの予習
23	母音と子音の知覚様式	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
24	知覚バイアス	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
25	知覚と正規化(補完効果)	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、次回レジメの予習
26	音素配列に関する制約【日本語】	講義・実践・質疑応答	授業内容の復習、試験の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	まとめとテスト	講義・試験	授業内容の復習、次回レジメの予習
28	音素配列に関する制約【英語】	講義・実践・質疑応答・試験返却と講評	授業内容の復習

テキスト	講義内容に関する概要と資料が記載されたプリントを使用します。
参考書	川原繁人(2018)『ビジュアル音声学』(三省堂)

科目名	LNG302: 語用論					担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4208	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意							
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本人が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合、どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや外国語の学習という視点から考察する。授業は、講義と練習問題、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析し、小規模な研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。							
達成目標	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。							
到達目標	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本と英語を比較する能力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する能力をつける。映画やドラマの中の英語での会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面(レポート)と口頭で表現できるようになる。							
評価方法	小テスト2回(40%) レポート(20%) 発表(20%) 授業時の積極参加(20%)							
評価基準	別紙参照。評価基準の詳細については初回の授業時に配布する。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics? (語用論とは何か)	講義、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
2	What is Pragmatics? (語用論とは何か)：状況の中での発話の意味	講義、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
3	Greeting (挨拶)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト1-8頁を読む
4	Communicative Competence (言語運用能力)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト9-15頁を読む
5	Speech Acts (発話行為)：理論と分類	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト23-30頁を読む
6	Speech Acts (発話行為)：間接発話行為	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト47-54頁を読む
7	Conversational Implicature (会話による含意)：協調の原則	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト39-46頁を読む
8	Conversational Implicature (会話による含意)：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト39-46頁を読む
9	Politeness (ポライトネス)：Brown & Levinsonの理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト55-63頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Politeness (ポライトネス): Leech の理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1 (40 分) 復習 (60 分)	小テスト、講義 ディスカッション	小テストのための復習
13	会話分析: 隣接応答ペア	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析: 隣接応答ペア」を読む
14	会話分析: 修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、ディスカッション	資料「会話分析: 修復」を読む
15	会話分析: 優先構造	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析: 優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析 (レポートと発表について)	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
17	Cross-cultural Pragmatics (異文化間語用論)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
18	日英比較: Apologies (謝罪) Speech Acts (発話行為): 謝罪	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む テキスト 31-38 頁を読む
19	日英比較: Requests (依頼)、Politeness in Making a Request (依頼の中のポライトネス)	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
20	日英比較: Compliments and Responses to Compliments (誉め言葉と応答)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Compliments」を読む
21	日英比較: Refusals (断り)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Refusals」を読む
22	日英比較: Complaints (不満表明)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Complaints」を読む レポート作成
23	小テスト 2 (40 分) 復習 (60 分)	小テスト、講義 ディスカッション	小テストのための復習
24	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
25	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
26	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップー身のまわりの言葉を語用論的に見る』(春風社)、配布資料
参考書	岡本真一郎(編)『ことばのコミュニケーション』(ナカニシヤ出版) ヘレン・スペンサー＝オーティアー(編著)『異文化理解の語用論』(研究社)
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	ENG360: 英語史					担当教員	山本 浩	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア							
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的変化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。							
達成目標	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。							
到達目標	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。							
評価方法	授業参加：20% テストおよび定期試験：80%							
評価基準	テストおよび定期試験：古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかを見る。 授業参加：授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかを見る。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	ゲルマン語と英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	テスト(45分)と1回～8回の授業の復習(45分)	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学(チョーサー)	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学と時代	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	チューダー朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	聖書の英語訳	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	テスト(45分)と11回~17回の授業の復習(45分)	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
19	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
20	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	シェイクスピアの英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	イギリスの階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリス英語とアメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
定期試験を実施する Final Exam will be held			
27	19回~26回の授業の復習と定期試験のふりかえり	定期試験に基づく復習、定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	英語史の総まとめ	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参考書	寺澤盾『英語の歴史—過去から未来への物語』中公新書1971(中央公論新社) 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』(大修館書店)

科目名	LNG320: バイリンガル教育					担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	木4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-①	
キーワード	バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ							
授業の概要	バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法、日本と海外のマルチリンガル教育の現状について学ぶ。カナダやアメリカなどの言語政策の背景にある歴史や政治的な出来事についても理解し、バイリンガリズムを多文化共生的な視点で考えていく。							
達成目標	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解し、日本人が海外で育った場合の日本語保持や、日本国内に住む外国人の子どもたちの教育課題についてもバイリンガル教育の観点から理解できるようになる。							
到達目標	① バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解できるようになる。 ② バイリンガリズムに関するテーマに関して、専門的な知見を理解し、用語を用いて分析し記述できるようになる。							
評価方法	① 授業への積極参加 15% ② 小テスト・宿題 40% ③ 定期試験 45%							
評価基準	① 授業への積極参加：発言やディスカッションへの貢献を評価する。 ② 小テスト・宿題：理論や専門用語など授業内容の基礎的な理解を評価する。 ③ 定期試験（記述式）：バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解し、バイリンガリズムに関する現象や政策、問題等についても専門的な知見を用いて分析し記述できるか評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1章 バイリンガルとは 母語と第2言語の違いについて	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書第1章を読んでノートにまとめる
2	第1章 小テストと解説 グローバル化と人の移動	質疑応答、ディスカッション	小テストの準備
3	第2章 子どもの母語の発達と年齢 保護者の役割	講義、発表、ディスカッション	第2章を読んでノートにまとめる
4	第2章 小テストと解説 第3章 バイリンガル教育の理論	質疑応答、講義、発表	小テストの準備
5	第3章 バイリンガル教育の理論 社会心理的要因と言語の発達	講義、発表、ディスカッション	第3章を読んでノートにまとめる
6	第4章 家庭で育てるバイリンガル 言語の使い分け	講義、発表、ディスカッション	第4章を読んでノートにまとめる
7	第4章 小テストと解説 第5章 カナダのフレンチイマージョン	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
8	第5章 イマージョン方式のバイリンガル教育： イマージョン方式の種類	講義、発表、ディスカッション	第5章を読んでノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	第5章 小テストと解説 第6章 年少者英語教育とバイリンガル	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
10	第7章 マイノリティ言語児童生徒とバイリンガル教育	講義、発表、ディスカッション	第7章を読んでノートにまとめる
11	第6～7章 小テストと解説 第8章 海外子女とバイリンガル教育 全日制日本人学校	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
12	第8章 小テストと解説 第9章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語としての日本語教育	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
13	第10章 バイリンガルと文化の習得 2言語の習得とアイデンティティ	講義、発表、ディスカッション	第10章を読んでノートにまとめる
定期試験を実施する Final Exam will be held			
14	試験の返却、および講評	質疑応答、ディスカッション	テスト問題の範囲の見直し
テキスト	中島和子『完全改訂版 バイリンガル教育の方法 12歳までに親と教師ができること』(アルク)		

科目名	EDU310: 初等教育					担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業							
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。							
達成目標	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につける。							
到達目標	①初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。 ②『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。 ③各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をし合うことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。							
評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、②『教育の段階』のブックレポート (30%)、③小学校見学のレポート (10%)、④指導案の作成・発表 (30%)							
評価基準	①リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に論述できているか。 ②『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について、講義内容もふまえて考察できているか。 ③小学校見学のレポート：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 ④指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察
2	小学生の時代的变化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	小学生の問題について調べる、配布資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育(1) —認知的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ピアジェの理論について調べる、配布資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育(2) —社会的・人格的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	社会性の発達について調べる、配布資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布資料の要約・考察
6	児童期における問題行動の意味(1) —非社会的問題行動—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVDの内容の要約・考察
7	児童期における問題行動の意味(2) —反社会的問題行動—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVDの内容の要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
8	『教育の段階』のレポート発表(1)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1のレポート 『教育の段階』の復習
9	『教育の段階』のレポート発表(2)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2のレポート 『教育の段階』の復習
10	『教育の段階』のレポート発表(3)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3のレポート 『教育の段階』の復習
11	『教育の段階』のレポート発表(4)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』4のレポート 『教育の段階』の復習
12	特別支援教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	特別支援教育について調べる、 配布資料の要約・考察
13	初等教育の内容と教育課程	講義・ディスカッション リアクションペーパー	コア・カリキュラムを調べる 配布資料の要約・考察
14	「総合的な学習の時間」の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	総合学習について調べる 配布資料の要約・考察
15	「総合的な学習の時間」の系譜	講義・ディスカッション リアクションペーパー	デューイについて調べる 配布資料の要約・考察
16	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配布資料の要約・考察
17	現代における授業改革	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、 DVDの要約・考察
18	諸外国の初等教育(1) アメリカ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アメリカの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
19	諸外国の初等教育(2) ヨーロッパ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	ヨーロッパの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
20	小学校見学の準備	グループワーク	配布資料を読む 配布物の作成
21	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学の振り返り
22	小学校見学のまとめ	グループワーク	見学のレポートを作成
23	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配布資料を読む 指導案の作成
24	指導案の作成(1)—単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成(2)—教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
26	指導案の作成(3)—指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	模擬授業(1)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業(2)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。
参考書	モリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階—誕生から青年期まで』(岩波書店) 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』(新曜社)
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。

科目名	PSY301: 発達心理学					担当教員	奥村 桃子	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤	
キーワード	生涯発達、認知、対人関係、自己、乳幼児期							
授業の概要	発達心理学研究に基づいて、人の発達について多角的に理解することを目指し、胎児から老人にわたる成長発達とその過程について学びます。各発達段階の特徴や発達のメカニズムについて解説します。基本的には講義形式ですが、本授業での学びを深め日常生活に役立てることができるよう、視聴覚教材も使用します。							
達成目標	発達心理学の基本的な用語や知識を習得し、人の発達のメカニズムについて理解することを目的としています。また、生命誕生から人間がどのように発達し、年齢を重ねていくのかについて基本的な発達心理学的思考を身につけ、発達心理学の臨床的な問題を身近な問題として考えるための基礎知識を学びます。							
到達目標	人間を発達心理学の視点から理解すること、現在の心の在り方を一生涯という長い時間軸の中で理解し、自分自身の現在を振り返り展望して考えることができるようになることが目標です。							
評価方法	毎回の授業態度とリアクションペーパー50%、授業内試験3回と授業内レポート2回50%							
評価基準	積極的な質問や発言等の授業態度、および授業内容を踏まえた自らの考えをリアクションペーパーおよび授業内レポートにおいて記述できているかを評価対象とします。また、授業内試験では学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、適切にまとめて記述できるかどうかを評価します。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは？	講義、リアクションペーパー	テキスト「はじめに」「目次」に目を通しておくこと
2	発達の可塑性 遺伝と環境	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.3-7を読み疑問等を整理する
3	発達モデル ピアジェとエリクソン	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.8-13を読み疑問等を整理する
4	発達研究の方法 横断的方法と縦断的方法	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.14-16を読み疑問等を整理する
5	生涯発達心理学の視点 生涯発達を規定する要因	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.17-22を読み疑問等を整理する
6	認知発達の基盤1<授業内レポート提出> 胎児と新生児	発表、講義、DVD、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.23-35を読み授業理解の促進に努める
7	認知発達の基盤1-2 乳児期	発表、講義、DVD、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.35-40を読み疑問等を整理する
8	認知発達の基盤2 幼児期①「幼児期の子どもの発達とは？」	発表、講義、DVD、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.41-58を読み疑問等を整理する
9	認知発達の基盤4<授業内レポート提出> 幼児期②「具体的なイメージを掴もう！」	発表、講義、DVD、リアクションペーパー	授業の要点を復習、疑問等を整理してレポート作成準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	第1回授業内試験 解答と解説	授業内試験、講義、リアクションペーパー	試験の見直し、1～9回の授業の復習
11	他者との関係性のはじまり1 他者認識と愛着	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.61-73を読み疑問等を整理する
12	他者との関係性のはじまり2 遊び	発表、講義、DVD、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.74-77を読み疑問等を整理する
13	子どもの自己発達 自己を表現する	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点を復習、pp.79-97を読み疑問等を整理する
14	自己を見つける パーソナリティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.97-100を読み疑問等を整理する
15	自己を見つける アイデンティティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.100-107を読み疑問等を整理する
16	認知能力の生涯発達1 学校での学習	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.109-118を読み疑問等を整理する
17	認知能力の生涯発達2 成人後の認知能力	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.118-126を読み疑問等を整理する
18	認知能力の生涯発達3 高齢期の認知能力	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.126-136を読み疑問等を整理する
19	第2回授業内試験 解答と解説	授業内試験、講義、リアクションペーパー	11～18回の授業の復習、試験の見直し
20	人間関係の広がりや深まり1 友人・仲間関係	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.137-147を読み疑問等を整理する
21	人間関係の広がりや深まり2 親密な関係	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.147-150を読み疑問等を整理する
22	人間関係の広がりや深まり3 結婚	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.150-158を読み疑問等を整理する
23	人間関係の広がりや深まり4 親になること	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.159-165を読み疑問等を整理する
24	大人の自己発達1 多重化する自己	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.167-172を読み疑問等を整理する
25	大人の自己発達2 自己の揺らぎと成長	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.172-179を読み疑問等を整理する
26	大人の自己発達3 ジェネラティビティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点復習、pp.179-183を読み疑問等を整理する
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	第3回授業内試験 解答と解説	授業内試験、講義、リアクションペーパー	20～26回の授業の復習、試験の見直し
28	全体のまとめ、質疑応答、補足	講義、ディスカッション	1回目からの授業の流れを踏まえて統括する

テキスト	鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ著『生涯発達心理学』(有斐閣アルマ)
その他 特記事項	必要に応じて、資料を moodle に up するので、アクセスして入手すること。 「発達心理学」の内容理解が深まるので、基礎知識として春学期に「心理学」の授業を受講しておくことが望ましい。

科目名	LNG325: 第二言語習得					担当教員	T. Gould	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4209	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4, 5	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					3-④, 4-⑤, 5-②	
キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning							
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.							
達成目標	In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.							
到達目標	By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.							
評価方法	Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.							
評価基準	Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment: for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.							
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction: How do different languages connect in our minds?	Lecture; pair-work; group-work	Select partner for project 1; KT 1-6
2	What is a bilingual? What are L2 users like? L2 users think differently; Two Ls in one mind	Lecture; pair-work; group-work	Record 5 min. J. conversation; KT 6-11
3	Is there a best age for learning a second language? The experience of immigrants	Lecture; pair-work; group-work	Prepare 3 min. sample transcript; KT 17-25
4	The idea of a 'critical period', The effect of early instruction in a second language	Lecture; pair-work; group-work	Transcript rough draft and analysis points; KT 26-33
5	How do people acquire the words of a second language? The lexical challenge; context	Lecture; pair-work; group-work	Final check project 1 and peer edit; KT 38-43
6	The importance of grammar in SLA; morphemes, word order and processing	Lecture; pair-work; group-work	Project 1 due in class; KT 44-50
7	Writing in a second language; pronunciation, writing system; letter / sound correspondence	Lecture; pair-work; group-work	Select Project 2 groups; KT 56-60

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Review and Test	Short lecture; take test	Meet with Project 2 group and practice conversations
9	Return test and go over results; syllable structure; scripts	Lecture; pair-work; group-work	Meet w / P2 group-practice conv; KT 61-66
10	Reading and writing processes; spelling rules; punctuation	Short lecture; take test	Record 10 min E. conversation; KT 66-70
11	How do attitude and motivation help in learning a second language? liking and wanting	Lecture; pair-work; group-work	Distribute data file to group members; KT 74-77
12	Motivation; present and future directions; Gardner's def. of L2 motivation	Lecture; pair-work; group-work	Prepare sample 1 minute transcription; KT 78-84
13	How useful is L2A research for language teaching?	Lecture; pair-work; group-work	Work on transcribing English data; KT 85-87; 90-91
14	Teaching and learning; inductive and deductive language teaching; classical teaching	Lecture; pair-work; group-work	Continue transcribing, identify analysis points; KT 92-94
15	Review and Test	Short lecture; take test	mid-term project due in class
16	Return test and go over results; communicative syllabi; Grammar translation method	Lecture; pair-work; group-work	Organize groups for final project; KT 95-103
17	The audiolingual method; examples of structure drills; examples of communicative exercises	Lecture; pair-work; group-work	Distribute data files; KT 110-114
18	Weinreich's kinds of bilinguals; more views on age; classic research on the age factor	Lecture; pair-work; group-work	Prepare sample 1 minute transcription; KT 114-119
19	Two views of age and classroom language learning; what's a word?	Lecture; pair-work; group-work	Work on transcribing J. data KT 120-122
20	American English children's early words; translation equivalents; mnemonic connections	Short lecture; take test	Continue transcribing, identify analysis points; KT 126- 128
21	Rote-learning; some basic grammar differences between languages (pro-drop and non-pro-drop)	Lecture; pair-work; group-work	Continue work on transcribing J. data; KT 129-134
22	Shapes vs substance; J words taken from E with added vowels	Lecture; pair-work; group-work	Continue transcribing, final analysis points; KT 134-139
23	Review and Test	Short lecture; take test	Study / Review for test; begin English gloss of transcription
24	Return test and go over results; multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; group-work	Complete English gloss
25	Concluding lecture; Topic review and small group discussions (topic assigned by instructor)	Lecture; pair-work; group-work	Review class notes and test results; finish transcription
26	Peer editing and consultation about Project 3 with instructor, transcription and analysis	pair-work; group-work	Prepare rough outline of analysis for discussion
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	Discussions about Project 3 in pairs and small groups	pair-work; group-work	Prepare final draft w / analysis
28	Conclusion, multiple perspectives in SLA	pair-work; group-work	Transcription / analysis project (Japanese learner) due in class
テキスト	Vivian Cook and David Singleton. <i>Key Topics in Second Language Acquisition</i> (Multilingual Matters).		

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A					担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-②	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスマーケティング活動、アクティブラーニング							
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスマーケティング枠で行うイングリッシュフレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。							
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスマーケティング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。							
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な指導案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。							
評価方法	①出席時の授業参加姿勢 (40%)、②指導案・教材作成 (20%)、③模擬授業 (20%)、④期末課題 (20%) の比率に基づいて総合的に評価する。							
評価基準	①授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢とそれを反映したリアクションペーパーを評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーション型授業案への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS 「みんなの広場」での省察の蓄積が生かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育・小学校外国語 (英語) 教育とは: これまでの学習内容の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
4	テキスト概観: 学習指導要領に照らして小学校外国語 (英語) 教育を考える	講義 グループワーク	授業内容をもとに指導案を作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
6	指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改訂・発表準備
7	小学校における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバック発表準備
8	指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改善・発表準備
9	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究 (1)	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の SNS での省察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	モデル指導案の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(2)	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
12	モデル指導案の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(3)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
14	モデル指導案②の研究 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(4)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
16	モデル指導案の実践練習(3)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(5)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
18	モデル指導案の実践練習(4)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(6)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
20	モデル指導案の実践練習(5)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(7)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
22	モデル指導案の実践練習(6)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(8)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
24	モデル指導案の実践練習(7)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(9)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
26	モデル指導案の実践練習(8) 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表 グループワーク	EF活動のSNSでの省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF活動のSNSでの省察 期末課題作成

テキスト	文部科学省『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』『We Can! 1』『We Can! 2』テキストおよび指導編(東京書籍)*計8冊
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
履修条件、 前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスマーケティング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。 この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを履修済みであることを条件とする。
その他 特記事項	本講は学外での実践的教育を含む科目である。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B				担当教員	狩野 晶子		
開講期	秋	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-②	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスマーケティング活動、アクティブラーニング							
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスマーケティング枠で行うイングリッシュフレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。							
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスマーケティング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。							
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な指導案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。							
評価方法	①出席時の授業参加姿勢 (40%)、②指導案・教材作成 (20%)、③模擬授業 (20%)、④期末課題 (20%) の比率に基づいて総合的に評価する。							
評価基準	①授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢とそれを反映したリアクションペーパーを評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーション型授業案への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS 「みんなの広場」での省察の蓄積が生かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育・小学校外国語 (英語) 教育とは: これまでの学習内容の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
4	テキスト概観: 学習指導要領に照らして小学校外国語 (英語) 教育を考える	講義 グループワーク	授業内容をもとに指導案を作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとにリアクションペーパー作成
6	指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改訂・発表準備
7	小学校における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバック発表準備
8	指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改善・発表準備
9	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究 (1)	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の SNS での省察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	モデル指導案の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(2)	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
12	モデル指導案の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(3)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
14	モデル指導案②の研究 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(4)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
16	モデル指導案の実践練習(3)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(5)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
18	モデル指導案の実践練習(4)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(6)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
20	モデル指導案の実践練習(5)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(7)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
22	モデル指導案の実践練習(6)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(8)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
24	モデル指導案の実践練習(7)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・モデル指導案の研究(9)	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF活動のSNSでの省察
26	モデル指導案の実践練習(8) 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表 グループワーク	EF活動のSNSでの省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF活動のSNSでの省察 期末課題作成

テキスト	文部科学省『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』『We Can! 1』『We Can! 2』テキストおよび指導編(東京書籍)*計8冊
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
履修条件、 前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスマーケティング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。 この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを履修済みであることを条件とする。
その他 特記事項	本講は学外での実践的教育を含む科目である。

科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座				担当教員	杉村 美佳		
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-②	
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン							
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と模擬実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。実践を想定した模擬授業を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。							
達成目標	児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を習得することを目標とする。							
到達目標	①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を習得する。②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。							
評価方法	①小課題・ノート提出（30%）、②英文法小テスト（30%）、③アクティビティ発表（10%）、④レッスンプラン作成（30%）							
評価基準	①小課題・ノート提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。 ②英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア ③アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。 ④レッスンプラン作成：作成手順に即し子どもの発達段階に合った適切なプランになっているか。							
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week1,2の予習振り返りチェック
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week3の予習振り返りチェック
3	児童心理学（1）—幼児期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習
4	児童心理学（2）—児童期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week7の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week8の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	小学校英語活動の位置づけ(1) — 小学校「外国語活動・外国語」の目標と内容 —	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習
10	小学校英語活動の位置づけ(2) — 小学校「外国語活動・外国語」の留意点 —	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習 振り返りチェック
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week2の予習 振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week3の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week4の予習 振り返りチェック
14	代表的な英語教授法・指導法(1) — 教授法と指導法の基礎知識 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習
15	代表的な英語教授法・指導法(2) — 代表的な指導法 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習 振り返りチェック
16	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week13~15の予習
17	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week16~18の予習
18	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week19~21の予習
19	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week22~24の予習
20	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week6の予習
21	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week7の予習 振り返りチェック
22	レッスンを構成するアクティビティ(1) — レッスンに適したアクティビティ —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習
23	レッスンを構成するアクティビティ(2) — 代表的なアクティビティ例 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習 振り返りチェック
24	レッスンプランの書き方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』 Week9の予習
25	レッスンプランの作成(1)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
26	レッスンプランの作成(2)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	アクティビティ発表(1)	学生発表、相互評価、 講評	発表の準備と練習
28	アクティビティ発表(2)	学生発表、相互評価、 講評	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」(アルク)で使用するテキスト(基礎理論編、英語力トレーニング編、レッスンプラン編)およびその他のプリント配布物。
参考書	文部科学省『We can!』(東京書籍)
履修条件、 前提科目	アルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、同講座を受講することが必須となる(別途費用がかかる)。
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> この授業の終了時には少なくともTOEIC500点以上となるよう努力すること。 この授業を取る者は積極的にイングリッシュ・フレンド等の活動に参加すること。

科目名	SLE201: サービスラーニング入門講座					担当教員	(春) 岩崎 明子 (秋) 宮崎 幸江	
開講期	春/秋	開講時限	(春)木2限 (秋)月4限	研究室	(春)4213 (秋)4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	5	地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					5-①, 5-②	
キーワード	サービスラーニング、キリスト教ヒューマニズム、秦野市、多文化共生、							
授業の概要	本学のサービスラーニング活動に参加を希望している学生に、サービスラーニングとは何か、秦野市の地域的な課題や公教育で求められるボランティアの役割、子どもたちの発達等、毎回異なる講師により多様な視点からサービスラーニングについて講義を聴く。学生は講義を聴いてグループでディスカッションをしたり、グループごとに発表し参加型の授業を行う。							
達成目標	本学のサービスラーニング活動に参加することを前提に、活動する地域社会に対する基礎知識や教育現場でのニーズについて学ぶ。また、本学教職員のボランティア体験を聴くことにより、国内だけでなく海外まで視野を広げ、多文化共生的な視野を養う。							
到達目標	サービスラーニングの内容や特徴を理解し、具体的にどのサービスラーニングに参加していきたいかイメージを持てるようになる。その活動に参加することによりどのような地域貢献をしていきたいか、また自分自身が何をどう学ぶかを主体的に考えられるようになる。多様な背景の講師の講義から、「他者のために他者とともに」とはどういうことかを自分で考え、意見を述べられるようになる。							
評価方法	①積極的参加：25% ②リアクションペーパー：25% ③最終レポート：50%							
評価基準	①積極的参加：講義に6回以上出席し、ディスカッションに積極的に関わったかどうかを評価する。 ②リアクションペーパー：毎回の講義を振り返りシャトルカードに書いて提出する。 ③最終レポート：「サービスラーニング入門講座から学んだこと」というタイトルのレポートを最終日に提出する。 ※成績評価はパス/フェイルのみ							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	サービスラーニングとは何か サービスラーニングの歴史、種類、学び	講義、ディスカッション、質疑応答	講義用ノートの準備
2	キリスト教とボランティア	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄を調べる。
3	秦野の地域的特徴と課題(はだの学)	講義、ディスカッション、質疑応答	秦野市について興味のある事柄を調べる。
4	特別な個性を持つ子どもたち	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで復習する。
5	異文化理解について	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する新聞記事などを自分で調べる。
6	秦野市の学校におけるボランティアの役割	講義、ディスカッション、質疑応答	レポート準備
7	みんなで考えるサービスラーニング	講義、ディスカッション、質疑応答	レポート準備

その他 特記事項	サービスラーニング活動への参加を希望する学生は本科目を取ることを推奨する。また活動をしながらか科目を履修することも可能である。 ※授業実施日は以下のとおりである。 【春学期】 1回目 (4/11)、2回目 (4/18)、3回目 (4/25)、4回目 (5/9)、5回目 (5/16)、 6回目 (5/23)、7回目 (5/30) 【秋学期】 1回目 (9/30)、2回目 (10/7)、3回目 (10/14)、4回目 (10/21)、5回目 (10/28)、 6回目 (10/31)、7回目 (11/11)
-------------	--

科目名	SLE302: サービスラーニング (小中学校日本語支援B)				担当教員	宮崎 幸江		
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと	
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	5	地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					5-①	
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガリズム、多文化共生、アクティブラーニング							
授業の概要	この授業では、サービスラーニング(カレッジフレンド)に参加し、学期中秦野市の小中学校に在籍する外国人児童生徒の日本語及び教科学習の支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の2限(学期中12回)に活動を行い、月曜日には学内で年少者への日本語支援の方法やバイリンガル環境の子どもの発達について学ぶ。							
達成目標	グローバル化が進む現代社会における外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国人児童生徒の言語の発達について、理論を理解し、当事者の立場からも考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。							
到達目標	① 支援対象の言語的ニーズをつかむことができる。 ② 対象の言語のレベルに合わせた指導の工夫ができる。 ③ 地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点から意見を持てるようになる。 ④ サービスラーニングを通して、社会人として成長する。							
評価方法	① 授業への積極参加 (35%) ② カレッジフレンドへの参加 (35%) ③ プレゼンテーションとレポート (30%)							
評価基準	① 授業への積極参加：授業でのディスカッションに積極的に参加し意見を述べているか。 ② カレッジフレンドへの参加、振り返り：活動に参加し振り返りを記述しているか。 ③ プレゼンテーション、レポート：一学期間の活動をまとめ、テーマに従って活動内容を分析しているか。							
準備学修の時間	本科目の一回(100分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	外国につながる児童生徒とその保護者、その多様性を豊かに	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書8~24頁を読んでノートにまとめる。
2	秦野市における多文化化の現状	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
3	バイリンガルの言語発達と教育課題	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
4	グローバル化と日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書26~39頁を読む。
5	多様な先生、多様な児童支援の方法	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書42~52頁を読む。
6	実習①：小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
7	実習①の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
8	実習②：小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	実習②の振り返りと報告 教科学習の難しさ	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
10	実習③:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援小中学校実習	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
11	実習④:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
12	実習③④の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
13	実習⑤:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
14	実習⑤の振り返りと報告 外国人保護者が捉える日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
15	実習⑥:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
16	実習⑥の振り返りと報告 言語とアイデンティティ	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
17	実習⑦:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
18	実習⑦の振り返りと報告 支援方法の紹介	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
19	実習⑧:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
20	実習⑧の振り返りと報告 クラス運営について	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
21	実習⑨:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
22	実習⑨の振り返りと報告 子どもたちのエンパワメント	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
23	実習⑩:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
24	実習⑩の振り返りと報告 学校による違い	講義、ディスカッション、質疑応答	他の人の振り返りから、自分の支援をもう一度振り返る。
25	実習⑪:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援小中学校実習	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。 プレゼンテーション準備
26	実習⑫:小中学校での外国籍児童生徒への日本語及び教科学習の支援小中学校実習	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。 プレゼンテーション準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	全体の振り返り、プレゼンテーション	ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	プレゼンテーション、総括	ディスカッション、質疑応答	レポートを書く。

テキスト	松永典子編著『学校と子ども、保護者をめぐる多文化・多様性理解ハンドブック』(金木犀舎)		
その他 特記事項	本科目は学外での実践的教育(木曜日2限)を含む科目である。実習がある木曜日は直接派遣先へ行くことになるため、月木1限の科目を履修することはできない。「サービスマーケティング入門講座」を履修していることが望ましい。同じ学期に履修または次の学期に履修してもよい。詳細はP.61の履修上の注意を参照。		

科目名	SLE303: サービスラーニング（地域日本語支援 A）				担当教員	河北 祐子							
開講期	春	開講時限	火金 5 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと						
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2 年	連絡先							
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点						
	5	地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					5-①						
キーワード	多文化共生、「やさしい日本語」、社会参加、居場所、参加型学習												
授業の 概要	多文化共生社会づくりについて各地域での課題とその取り組みの実際、地域で使われている参加型学習教材などについて講義・紹介する。 授業で学んだことをコミュニティーフレンド活動で実践し、活動内容を授業において省察することにより、多文化共生社会づくりへの積極的な関わり方を学ぶ。												
達成目標	多文化共生社会づくりへ向けた有用な人材となるために、地域社会における外国人市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動ができるようになる。												
到達目標	学生は自らのボランティア活動を計画・実践・ふり返り・改善するという省察行動がとれるようになる。 学期末には学生は本授業を通して学んだことを応用したコミュニティーフレンド参加者のためのイベントを企画実践する。												
評価方法	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 授業時の積極的参加</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>② 授業外課題（ボランティア参加）</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>③ プレゼンテーション（イベント企画・実践）</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> </table>							① 授業時の積極的参加	30%	② 授業外課題（ボランティア参加）	30%	③ プレゼンテーション（イベント企画・実践）	40%
① 授業時の積極的参加	30%												
② 授業外課題（ボランティア参加）	30%												
③ プレゼンテーション（イベント企画・実践）	40%												
評価基準	① 授業時のディスカッションへの参加、課題提出期限を守っているか。授業を欠席した場合は採点対象としない。 ② ボランティアに参加し、積極的に行動しているか。 ③ 参加者に理解しやすい工夫があるか、目的を実現した活動だったか。												
準備学修 の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。												

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	・多文化化する地域 ・多文化共生施策	講義 グループワーク	外国人に関するニュースに関心を持つ。街観察をする。
2	・日本で育つ外国人家庭の子ども ・「やさしい日本語」	講義 グループワーク	A. pp.1-24 を読んでおく。 身の回りの日本語を観察。
3	・居場所としての地域日本語教室 ・実習へ向けて	講義 グループワーク	A. pp.25-31 を読んでおく。 実習場所を確認しておく。
4	・言語と学力「読み聞かせ」 ・実習①	講義 コミフレ参加	A. pp.42-52 を読んでおく。 ・活動記録を書く。
5	・実習①報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習②」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
6	・子どもと学校「教科 / 算数」 ・実習②	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
7	・実習②報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習③」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
8	・子どもと学校「教科 / 国語」 ・実習③	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
9	・実習③報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習④」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	・子どもと学校「教科/理科」 ・実習④	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
11	・実習④報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑤」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
12	・子どもと学校「教科/社会」 ・実習⑤	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
13	・実習⑤報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑥」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
14	・保護者と学校「成人参加者」 ・実習⑥	講義 コミフレ参加	・保護者の話を聞く。 ・活動記録を書く。
15	・実習⑥報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑦」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
16	・参加型学習「部屋の四隅」 ・実習⑦	講義 コミフレ参加	B. pp.70-79を読む。 ・活動記録を書く。
17	・実習⑦報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑧」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
18	・参加型学習「生活マップ」 ・実習⑧	講義 コミフレ参加	B. pp.80-120 ・活動記録を書く。
19	・実習⑧報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑨」作成	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
20	・参加型学習「フォトランゲージ」 ・実習⑨	講義 コミフレ参加	B. pp.137-150 ・活動記録を書く。
21	・実習⑨報告 ・ふり返り	グループワーク コメントと省察	・改善点を考え、記録に記入する。
22	・参加型学習「私の宝物」 ・実習⑩	グループワーク コミフレ参加	B. pp.151-168 ・活動記録を書く。
23	・実習⑩報告 ・ふり返り「実習①-⑩課題発見」	グループワーク コメントと省察	・これまでの活動記録を省察し、課題を見つけておく。
24	・発見課題のまとめ「実習ふり返り」 ・実習⑪	グループワーク コミフレ参加	・自分の活動を省察する。 ・活動記録を書く。
25	・実習⑪報告 ・課題解決「イベント企画」へ向けて	グループワーク 質疑応答	・自分の活動を省察し、改善を考える。
26	・課題解決「イベント企画」	グループワーク 質疑応答	・自分の活動を省察し、改善を考える。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	プレゼンテーション 「イベント実施」	イベント運営	・記録をつけ、省察の材料とする。
28	授業ふり返り 講評	グループワーク 質疑応答	・実践過程をふり返り、学びを深める。

テキスト	A. 松永典子『多文化・多様性理解ハンドブック』(金木犀舎) B. CINGA 地域日本語実践研究会『多文化共生の地域日本語教室をめざして—居場所づくりと参加型学習教材』(松柏社)
参考書	庵功雄、日高水穂、前田尚子、山田敏弘、大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』(くろしお出版)
その他 特記事項	本講は学外での実践的教育を含む科目である。「サービスマーケティング入門講座」を履修していることが望ましい。同じ学期、または次の学期に履修してもよい。詳細は P.61 の履修上の注意を参照。

科目名	SLE304: サービスラーニング（地域日本語支援 B）				担当教員	河北 祐子		
開講期	秋	開講時限	火金 5 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと	
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2 年	連絡先		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	5	地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					5-①	
キーワード	多文化共生、「やさしい日本語」、社会参加、居場所、参加型学習							
授業の 概要	多文化共生社会づくりについて各地域での課題とその取り組みの実際、地域で使われている参加型学習教材などについて講義・紹介する。 授業で学んだことをコミュニティーフレンド活動で実践し、活動内容を授業において省察することにより、多文化共生社会づくりへの積極的な関わり方を学ぶ。							
達成目標	多文化共生社会づくりへ向けた有用な人材となるために、地域社会における外国人市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動ができるようになる。							
到達目標	学生は自らのボランティア活動を計画・実践・ふり返り・改善するという省察行動がとれるようになる。 学期末には学生は本授業を通して学んだことを応用したコミュニティーフレンド参加者のためのイベントを企画実践する。							
評価方法	① 授業時の積極的参加		30%					
	② 授業外課題（ボランティア参加）		30%					
	③ プレゼンテーション（イベント企画・実践）		40%					
評価基準	① 授業時のディスカッションへの参加、課題提出期限を守っているか。授業を欠席した場合は採点対象としない。 ② ボランティアに参加し、積極的に行動しているか。 ③ 参加者に理解しやすい工夫があるか、目的を実現した活動だったか。							
準備学修 の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	・多文化化する地域 ・多文化共生施策	講義 グループワーク	外国人に関するニュースに関心を持つ。街観察をする。
2	・日本で育つ外国人家庭の子ども ・「やさしい日本語」	講義 グループワーク	A. pp.1-24 を読んでおく。 身の回りの日本語を観察する
3	・居場所としての地域日本語教室 ・実習①	講義 コミフレ参加	A. pp.25-31 を読んでおく。 ・活動記録を書く。
4	・実習①報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習②」作成	グループワーク コメントと省察	・活動上の課題を考え、記録に記入する。
5	・言語と学力「読み聞かせ」 ・実習②	講義 コミフレ参加	A. pp.42-52 を読んでおく。 ・活動記録を書く。
6	・実習②報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習③」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
7	・子どもと学校「教科 / 算数」 ・実習③	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
8	・実習③報告 ・ふり返り「活動計画 / 実習④」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
9	・子どもと学校「教科 / 国語」 ・参加型学習「部屋の四隅」	講義 グループワーク	・学校教材を調べておく。 B. pp.70-79 を読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	・保護者と学校「成人参加者」 ・参加型学習「生活マップ」	講義 グループワーク	A. pp.53-66 を読んでおく。 B. pp.80-122 を読んでおく。
11	・子どもと学校「教科/理科」 ・実習④	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
12	・実習④報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑤」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
13	・子どもと学校「教科/社会」 ・実習⑤	講義 コミフレ参加	・学校教材を調べておく。 ・活動記録を書く。
14	・実習⑤報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑥」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
15	・参加型学習「フォトランゲージ」 ・実習⑥	講義 コミフレ参加	B. pp.137-150 を読んでおく。 ・活動記録を書く。
16	・実習⑥報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑦」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
17	・参加型学習「私の宝物」 ・実習⑦	講義 コミフレ参加	B. pp.151-168 を読んでおく。 ・活動記録を書く。
18	・実習⑦報告 ・実習⑧	講義 コミフレ参加	・改善案を考え、記録に記入する。
19	・実習⑧報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑦⑧」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
20	・学校文化 ・実習⑨	講義 コミフレ参加	A. pp.66-73 を読んでおく。
21	・実習⑨報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑩」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
22	・多文化、母文化 ・実習⑩	講義 コミフレ参加	A. pp.73-85 を読んでおく。
23	・実習⑩報告 ・ふり返り「活動計画/実習⑪」作成	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
24	・社会参加、課題解決 ・実習⑪	講義 コミフレ参加	・活動記録を見直す。
25	・実習⑪報告 ・ふり返り「実習①-⑪」	グループワーク コメントと省察	・改善案を考え、記録に記入する。
26	・活動ふり返りからの課題発見 ・課題解決イベントへ向けて、計画作成	グループワーク コメントと省察	自分の活動を省察し、改善案を考えておく。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	プレゼンテーション 「イベント実施」	イベント運営	・記録をつけ、省察の材料とする。
28	授業ふり返り 講評	グループワーク 質疑応答	・実践過程をふり返り、学びを深める。

テキスト	A. 松永典子『多文化・多様性理解ハンドブック』(金木犀舎) B. CINGA 地域日本語実践研究会『多文化共生の地域日本語教室をめざして—居場所づくりと参加型学習教材』(松柏社)
参考書	庵功雄、日高水穂、前田尚子、山田敏弘、大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』(くろしお出版)
その他 特記事項	本講は学外での実践的教育を含む科目である。「サービスマーケティング入門講座」を履修していることが望ましい。同じ学期、または次の学期に履修してもよい。詳細は P.61 の履修上の注意を参照。